

## 平成29年度 岸和田市上水道事業会計予算

(総則)

第1条 平成29年度岸和田市上水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 給水戸数	87,576 戸(平成30年3月末見込)
(2) 年間総配水量	22,972,900 m <sup>3</sup>
(3) 一日平均配水量	62,939 m <sup>3</sup>
(4) 主要な建設改良事業	① 新設改良事業 521,831 千円
	② 第2次施設更新事業 1,165,104 千円
	③ 丘陵地区整備事業 705,423 千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入	
第1款 事業収益	4,180,512 千円
第1項 営業収益	3,805,071 千円
第2項 営業外収益	375,311 千円
第3項 特別利益	130 千円
支 出	
第1款 事業費用	4,104,885 千円
第1項 営業費用	3,884,848 千円
第2項 営業外費用	214,837 千円
第3項 特別損失	2,200 千円
第4項 予備費	3,000 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額633,374千円は、過年度分損益勘定留保資金462,887千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額170,487千円で補てんするものとする。)

収 入	
第1款 資本的収入	2,341,720 千円
第1項 企業債	1,971,900 千円
第2項 固定資産売却代金	30 千円
第3項 他会計負担金	20,000 千円
第4項 他会計繰入金	148,693 千円
第5項 工事負担金	70,309 千円
第6項 補助金	130,788 千円
支 出	
第1款 資本的支出	2,975,094 千円
第1項 建設改良費	2,411,916 千円
第2項 企業債償還金	563,178 千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
給 配 水 管 修 繕	平成29年度から平成31年度まで	357,000千円

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利 率	償 還 の 方 法				
				借入先	償還期限	据置期間	償還方法	その他
新 設 改 良 事 業	千円 341,700	普通貸借又は証券発行ただし事業の進捗状況により起債額の全部又は一部を起債前借することができる。	%以内 10 (ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	政 府	年以内 40	年以内 5	年賦、半年賦、元金均等若しくは元利均等償還又は満期一括償還	必要に応じて繰上償還又は借り換えることができる。
第2次施設更新事業	958,200			機 構				
丘陵地区整備事業	672,000			銀 行	その他			

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、400,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 営業費用、営業外費用、特別損失

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、これらの経費の金額を、これらの経費のうち他の経費の金額に、若しくはこれら以外の経費の金額に流用し、又はこれら以外の経費をこれらの経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 581,501 千円

(2) 交 際 費 50 千円

(たな卸資産購入限度額)

第10条 たな卸資産の購入限度額は、62,999千円と定める。

平成29年2月24日提出

岸和田市長 信 貴 芳 則